

第8回横浜トリエンナーレ 「おしゃべり鑑賞デー」開催 4/14(日)、5/5(日・祝)

第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」では、4月14日（日）及び5月5日（日・祝）に「おしゃべり鑑賞デー」を会場である横浜美術館、旧第一銀行横浜支店、BankART KAIKOで開催します。

「おしゃべり鑑賞デー」は、展示室内で気兼ねなく会話をしながら作品を鑑賞し、小さなお子様や現代アートに馴染みのない方々が、気軽にアートに親しむことができるイベントです。

横浜トリエンナーレには、「展示室内では会話を控える」というルールはありませんが、「アート鑑賞はしゃべってはいけない」という一般的なイメージがあり、小さなお子様連れやアートビギナーには敷居が高いと感じている方が多いようです。

「おしゃべり鑑賞デー」は、乳幼児や小さなお子様と一緒にご家族で、また、美術館は初めてという方々に、気軽にアートに触れていただく機会です。

当日は、展覧会を鑑賞した驚きや不思議に感じたことなど、感想を自由に語り合うツールやイベントとして、作品を見ながら取り組むワークシートを小学生以下の児童・未就学児に配布するほか、「ロボットと遊ぶ『野草』クイズ大会」を実施します。

また、横浜美術館では、5月5日（日・祝）に、お子様連れのお客様を優先的にご案内する「こどもファスト・トラック」も設置します。この機会にぜひ、ご来場ください。



「おしゃべり鑑賞デー」開催概要

展示室内で会話をしながら作品を鑑賞できます

日時：2024年4月14日（日）10:00-18:00、5月5日（日・祝）10:00-18:00

会場：横浜美術館、旧第一銀行横浜支店、BankART KAIKO

「ビビッと！びじゅつ発見シート」（ワークシート）の配布 小学生以下の児童・未就学児に配布します。（詳細は次ページ）

ロボットと遊ぶ「野草」クイズ大会 ※横浜美術館のみ実施

コミュニケーションロボット「NAO*」が展示作品に関する

クイズを出題します。*Aldebaranの小型二足歩行ロボット「NAO」

対象：中学生以下の児童・生徒

時間：①10:30-11:15（定員30名） ②12:00-12:45（定員30名）

③14:00-14:45（定員30名）

申込方法：各回、開始時刻の10分前までに総合案内でお申し込みください。先着順に受付。

注意事項：お子様1名につき、原則大人1名まで付き添いでお入りいただけます。

乳幼児をお連れの場合などは、当日、個別にご相談ください。

こどもファスト・トラック ※横浜美術館のみ5月5日（日・祝）に実施

お子様連れのお客様に優先的にご入場いただけるレーンを設置します。



※「NAO」はAldebaranの登録商標です。
※AldebaranのNAOを活用し、独自のサービスを提供しています。

「ビビッと！びじゅつ発見シート」（ワークシート）について

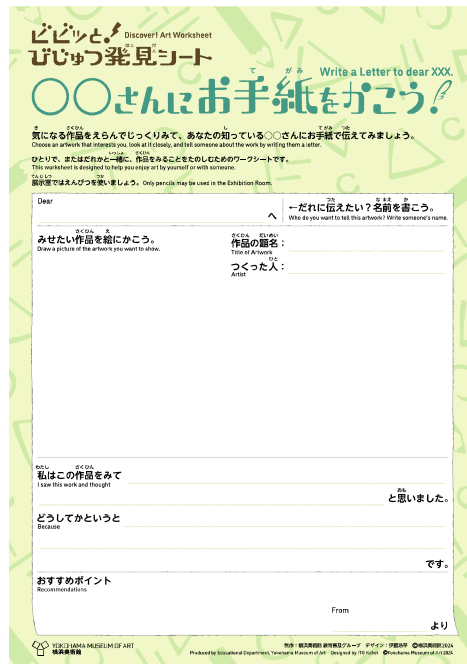
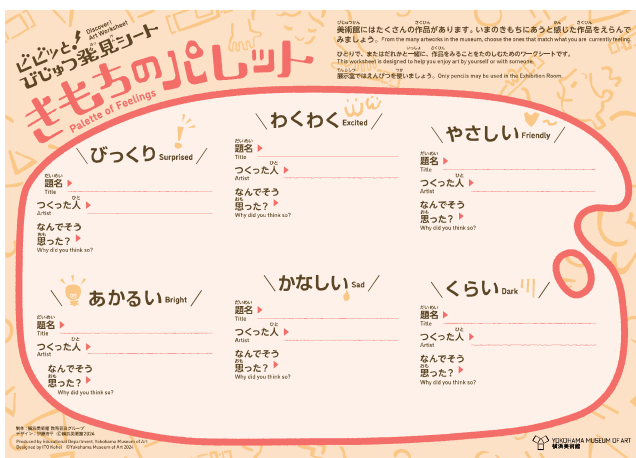
ひとりで、またはだれかと一緒に作品をみることを楽しむためのワークシートです。表と裏で2つの異なる内容となっており、お好きな方を選んで取り組むことができるため、小さなお子様から小学生まで、ご家族でお楽しみいただけます。

「きもちのパレット」

たくさんある作品の中から、今の気持ちに合う作品を選び、作品を見て感じたことを率直に書き込みます。

「〇〇さんにお手紙をかこう！」

気になった作品について誰かに伝えるためのワークシートです。誰かにお手紙を書くようにじっくり見ることで、より理解が深まります。



横浜トリエンナーレの「次世代育成」事業について

— 8回展では子どもやファミリー、アートビギナーも安心のプログラムを多数ご用意

こどものアートひろば「はらっぱ」

第8回横浜トリエンナーレ期間中、横浜美術館には、こどものアートひろば「はらっぱ」が常設されています。スタンプを使って創作したり、展覧会の感想を書いたり、休んだり、いろいろな過ごし方ができます。

乳幼児を連れて休憩できるコーナーもあり、どなたでも無料で事前のお申込みなくご利用いただけます。

(時間) 10:00-16:00 ※横浜トリエンナーレ開場日のみ
※混雑時は入場規制をさせていただく場合がございます。



横浜トリエンナーレ組織委員会では、第1回展（2001年）から第7回展（2020年）までに、未来を担う世代を対象として、アーティストやアート専門家による多彩なワークショップの開催、市内の児童・生徒への鑑賞チケットガイドの配布、学校団体の鑑賞受入れなどを行い、異なるものの見方や解釈、多様な価値観について理解を深める機会を提供してきました。

第8回展では、子どもやファミリー、美術館にあまり馴染みのないアートビギナーや若者を対象に、アート以外の専門家の協力を得て現代アートに親しむプログラムを「パブリックプログラム」として、多数用意しています。「パブリックプログラム」は、展覧会で作品を鑑賞するだけでなく、つくったり、しゃべったり、考えたり、子どもから大人まで、お友だちやご家族と一緒に「野草」のテーマをいろいろなかたちで楽しめるプログラムです。

パブリックプログラムの内容は、WEBサイトでご覧いただけます。

<https://www.yokohamatriennale.jp/2024/events>

【プレスリリースお問い合わせ】 第8回横浜トリエンナーレ広報事務局（株式会社プラップジャパン：本郷、藤井、畑野）

E-MAIL : yokotoripr@prap.co.jp TEL : 080-5887-1091 (平日9:30~18:00)

【横浜トリエンナーレ組織委員会お問い合わせ】 横浜トリエンナーレ組織委員会事務局 広報担当（石川、里見、頼政）

E-MAIL : press@yokohamatriennale.jp TEL : 045-663-7232 (平日10:00~18:00)

広報用画像貸出等プレス向けサイト : <https://www.yokohamatriennale.jp/press/>